

中間テストお疲れ様でした

中間テスト、お疲れ様でした。今年度最初の定期テストの結果はどうでしたか？
結果が良かった生徒、思うように結果が出なかった生徒、それぞれ様々な思いがあることと思います。

テストの点数は、中学校・学年・科目ごとに、難易度に大きな差があり、それらを一律に評価することは、非常に難しいのですが、全体的には非常に良かったのではないかと思います。
今回のテスト結果をふまえ、次の期末テストで、更なる飛躍をしてくれることを期待しています。



中間テスト結果報告

1学期の中間テストの成績優秀者を塾内に掲示しました。

1学期の中間テストは、中1をはじめ全学年ともに比較的点数が取りやすかったこと、そして、今年度最初のテストということで、生徒たちがとても頑張ったことで、成績優秀者が数多く出ました。次回以降のテストでも、これ以上の成果が出ることを期待しています。

学年ごとの成績優秀者の人数は下記の通りです。

中1生 (5科目)	450点以上 … 6名	・ 400点以上…4名
(科目別)	数学 100点…4名	・ 90点以上…6名
	国語 100点…0名	・ 90点以上…4名
	英語 100点…1名	・ 90点以上…9名
	理科 100点…1名	・ 90点以上…6名
	社会 100点…1名	・ 90点以上…4名

中2生 (5科目)	450点以上 … 1名	・ 400点以上…3名
(科目別)	数学 100点…1名	・ 90点以上…7名
	国語 100点…0名	・ 90点以上…0名
	英語 100点…0名	・ 90点以上…1名
	理科 100点…0名	・ 90点以上…2名
	社会 100点…0名	・ 90点以上…2名

中3生 (5科目)	450点以上 … 5名	・ 400点以上…9名
(科目別)	数学 100点…5名	・ 90点以上…11名
	国語 100点…1名	・ 90点以上…3名
	英語 100点…0名	・ 90点以上…8名
	理科 100点…0名	・ 90点以上…6名
	社会 100点…0名	・ 90点以上…5名



成績優秀者の皆さん、おめでとうございます。上記の生徒の皆さんには、後日、点数に応じて塾生ポイントがプレゼントされます。

また、上記には入らなかったけど、前回テストより成績がアップした生徒の皆さんには、1点アップにつき1ポイントが加算されます。お楽しみに。

期末テストも頑張ってください。

ゴールデン・ウィーク特訓最終結果報告

中学生の皆さんは「ゴールデン・ウィーク特訓」本当にお疲れ様でした。6月となり、G.W特訓もひとまず終了いたします。

全学年の終了者は次の通りでした。

	G.W特訓受講者	終了者
中1生	13名	9名
中2生	16名	15名
中3生	24名	19名
合計	53名	43名

終了者は終了していない生徒と比べ、明らかに中間テストでは差がみられました。次回の特訓は秋に予定しています。今回は全員が終了してくれることを期待しています。

自習室を活用しよう

いよいよ、期末テストも近づいてきました。まず、提出物の課題に手をつけましょう。今から始めても、決して早すぎることはありません。

自分の家ではなかなかその気になれない生徒たち。是非とも自習室を活用してください。普段、授業がない日や、授業の前後を自習室で過ごしてみてもどうですか？

そして、中間テストのときに自習室の活用が少なかった生徒たち。自宅で勉強できない生徒たち。是非、期末テストに向けて、精一杯自習室を活用してください。

自習室は、皆さんの利用をいつも待っています。



『社会の勉強について②』

5月号で『社会の勉強について』の総論を書きましたが、その中で、社会の勉強の大切さも述べました。それが影響したのかどうか分かりませんが、今回の中間テストでは、前年度に比べ、社会の成績に一定の成果が出ました。この調子で、社会の勉強も頑張ってください。

さて、今回は『社会の勉強の仕方』についてお話しさせていただきます。社会の勉強と一口に言っても、その勉強の仕方は千差万別。また、地理、歴史、公民でそのやりかたはそれぞれ異なると思います。

しかし、共通して言えることは、日々の学習の積み重ねが大切だということです。まず、学校・塾で習った単元を中心に、教科書、ノートをしっかり読みましょう。日々の学習をおろそかにして、テスト前にちょこっと勉強しただけで点数が簡単に取れるほど、テストは甘くないのです。まず、少しでもいいから、勉強に費やす時間を増やしてください。

まず、歴史なら、教科書やノートを読んで、「流れ」をつかんでください。そして、太字や赤で印をつけた人物や重要語句を覚えましょう。次に、様々なできごとや事件が、なぜ起こったのかを理解しましょう。もし、それがわかりにくければ、先生に質問してください。

地理ならば、まず、その地域の国名、都道府県名、山地・山脈や川・平野などの名前を地図とともに覚えましょう。普段の学習でそれだけはやるようにして下さい。そのうえで、教科書・ノートをしっかり読んで、重要な語句を覚えるようにします。

公民なら、まずその単元の大まかな事項を覚えましょう。今学校、塾で習っている「基本的人権」なら、基本的人権の種類を覚えてください。「平等権」「自由権」「社会権」…などです。そのあとにそれぞれの内容がどんなものかを教科書・ノートそして塾で配布されたプリントなどで理解するようにして下さい。そして、塾で普段やっている小テストを必ず合格するようにして下さい。

以上を普段の学習でやっておけば、テスト前に何を勉強すればよいか、自然に見えてくるはずですが、それがわかったうえで後は、学校のワーク・白プリントを徹底的に繰り返してください。そこまでやったら、テスト前の塾の直前対策プリントがすらすら解けるはず。そこで覚えていない事柄については、何度も反復し、完全に覚えるまで繰り返すだけになります。それがテスト直前にやる「覚えればしまい」という勉強になるのです。

「覚える」という作業は最も地道で、大変なことです。自分は「覚えるのが苦手だから」といって逃げていては、決して覚えることが上手にはなりません。

「苦手」なら、ほかの人以上に努力してください。良い点数を取っている人が決して、楽に覚えているのではなく、普段の勉強のうえに、覚える努力を決して怠らないからこそ、良い点数につながっているのだということを知ってください。期末テストでは、更に良い点数が取れるように期待しています。